

これまでの懇談会における主なご意見等

●第1回(R1.10.24)における主なご意見等

<ビジョン全体>

- ・エリアごとのイメージを持つとともに、古町地区全体としてどう打ち出していくか
- ・歴史まち、湊まちのイメージが弱いのでは。どう広報していくか検討が必要
- ・小路、通りにもそれぞれストーリーがある。また、西大畑など周辺も含めて考えて
- ・住んでいる人の視点も検討してはどうか
- ・内向け、外向けでターゲットを切り分けて打ち出し方を決めていけばよいのでは
- ・キャッチフレーズや表現を工夫してはどうか
- ・総花的にするのではなく、明確なテーマを決めて核を作って取り組む必要があるのでは

<その他>

- ・街並みを整備すれば観光客が増えるのでは
- ・小路の看板のように、街の看板やエリアの看板などを作ってみては
- ・駅からのアクセスやゾーン間、古町の上下方向の回遊性の向上なども検討する必要がある
- ・ビジョンをどのように具体的な取り組みにつなげていくかも並行して考えていく必要がある
- ・古町にはいろいろな活動をしている人たちがいる。その人たちの声を吸い上げては

●第2回(R1.12.19)における主なご意見等

<ビジョン全体>

- ・昔からのもの・特徴(強み)を活かす、という方向性はよい
- ・エリア分けのカタカナ語の表現はもう少しブラッシュアップが必要では
- ・エリア連携のページが漠然としてわかりにくい
- ・老舗が多い、という強みの一つとしてどこかに記載してもよいのでは
- ・交流人口も重要だが、居住人口や昼間の就業人口ということも重要
- ・他人事にならないよう、「誰」がやっていくのか、ということも明確にできるとよい

<コンセプト>

- ・どこにでもあるようなものでなく、新潟らしさ、古町らしさが出るとうい
- ・人をテーマにするとか、「明るい未来の古町へ」などの未来志向がよい
- ・江戸時代からの時間のつながりや人と人のつながりなど、「つながり」という言葉はよい
- ・ブランド化するためにも「古町」や、伝わりやすさという点から「歴史」を入れてもよい

<イメージパース>

《全体》

- ・パースでイメージが付きやすくなったが、絵が一人歩きする恐れもあるので注意が必要
- ・実施段階に法的制限でできなかった、ということにならないよう、パースの実現可能性も確認しておく必要がある

《古町花街エリア》

- ・絵で表されたのは大きな前進

《榎谷小路エリア》

- ・榎谷小路は国道であり、パースを描く上で管理者との調整が必要では

《古町モールエリア》

- ・2Fデッキなど、ハードを新たに作るなどの取り組みは不要では
- ・2Fデッキのような空間は昔あったもので、デッキ下の空間はおもしろい空間だった
- ・アーケードは莫大な費用がかかるし、地元でも様々な考えがある。支援なども必要

《本町エリア》

- ・居住人口を増やすうえで、本町の役割は重要。食以外にも医療機関が多くあるのは強み

<今後の取り組みについて>

- ・来年度どのように取り組むか、「ビジョン実現までの道筋」も書けるとよい
- ・エリアごとに一つずつ進めていくなど、少しずつでも成功例を作っていくことが重要
- ・花街などの資源を磨いてPRしてほしい。その手法として「歴史まちづくり法」が有効
- ・3月の三越閉店は大きな節目。ビジョン公表の時期・方法もそこを睨んで考えた方がよい